

1300HK (Z) シリーズ

1300HK (Z) シリーズは、各種金属、金属塗装面等への密着性を持っているインキで、特にプレス曲げ加工を要求される場合に適しています。通常の 2 液型エポキシインキと異なり、キャタリスト（硬化促進剤）を内蔵した 1 液型の焼き付け乾燥タイプです。

タイプ

エポキシ系

1 液加熱硬化型

用途

アルミ、亜鉛鋼板、ステンレス、鉄およびこれらの塗装板への印刷に適し、銘板、電気製品等に使用されています。

特徴

平滑性に優れ、グロス（艶あり）の仕上がりとなります。

焼き付け乾燥が必要ですが、1 液型のため作業性に優れています。

2 次加工性（プレス、曲げ加工）、リコート性（150℃30 分で重ね印刷可能）に優れています。

稀釈溶剤

標準溶剤 T-980 /T-990

洗浄溶剤

T-31

印刷

スクリーンメッシュ テトロンまたはナイロンの 200～300 メッシュをお勧めします。

乾燥

焼付 150℃30 分

硬化助剤

- ・キャタリスト：低温硬化促進剤

添加量は 5%以内、硬化反応温度は 80℃以上（80℃ 50～60 分）

保存安定性が悪くなりますのでキャタリスト配合インキは次回使用できません。

規定量以上添加しますと、密着性が低下します。

- ・キャタリスト H：硬化促進剤（1300HK (Z) インキに配合されています）

外気の影響や経時変化、色調によって性能効果が薄れる場合があります。キャタリスト H はその場合の硬化促進剤です。添加量は 1%以内です。

規定量以上添加しますと、密着性が低下します。

長期保存のものは硬化性をご確認の上、ご使用ください。



- ・キャタリスト A：耐湿性向上添加剤

添加量は 1%以内。添加量が増加するにしたいが、耐アルコール性、耐溶剤性が低下します。

硬化助剤を添加しますと物性に变化が出ます、必ず物性確認を行ってください。

その他

- ・屋外暴露製品（看板・標識等）にご使用の際はエポキシ樹脂特有のチョーキング現象（白亜化）が現れますのでご注意ください。
- ・ガラス製品に使用した場合、金属や金属塗装面への印刷物と比較して、耐水性や耐湿性がやや低下しますので、ご注意ください。
- ・貯蔵は外気の影響の少ない冷暗所に保管してください。

参考資料 （性能表は弊社での試験値であり、性能を保証するものではありません。）

試験項目	試験方法	試験結果
初期密着性 アルミ	クロスカットセロテープ剥離試験	100/100
塗装板		100/100
鉛筆硬度	750g 加重、45°	2 H
耐エタノール性	500g 加重、ラビング 50 回	異常なし
柔軟性	180° 折り曲げ	異常なし

試験条件

インキ : 1300HK (Z) 120 ホワイト
希釈 : T-980 20%
印刷 : テترون 250 メッシュ
素材 : アルミ、塗装板
乾燥 : 150℃30 分